



学校だより 5月号

文京区立第一中学校 令和6年5月23日(木)

それぞれ

校長 田島 佳子

コロナの時期に感染を避けて旅行を楽しむために、露天風呂付き、部屋食の高級旅館が人気だったり、屋外でのBBQやキャンプが流行りました。

キャンプと言えば、私は体育大学だったので、キャンプ実習というのがありました。菅平という所に行き、山登りやキャンプの設営、ゴルフなどもしました。テントを張る場所を決め、杭を打ちロープを張ってテントを設営しました。今とは異なり、テントも重くて張るのに技術が必要でした。かまども自分たちで石を重ねて作りました。風向きや方位なども慎重に考えました。万が一の雨にも備えてロープで雨どいも作りました。雨がテントに入らないように溝を掘ったりもしました。今のようにキャンプ場が整備されているところに張るのとは訳が違うので、キャンプに関する知識と技術が求められました。自慢ではないのですが、子供の頃からおてんばで、外で飛び回っていた私は、屋外での遊びが得意でした。キャンプ実習の最終日にベストキャンパーが発表されて自分の名前が呼ばれた時は驚きましたが、とてもうれしかったのを覚えています。その得点表を見たら、後片付け（現状復帰）と工夫のポイントが高かったのです。自然の中で過ごさせてもらったら、その自然を壊さずに元通りにして、感謝して返す。不便を楽しみ、工夫する。私にとってキャンプとはそういうものでした。

今は様々な価値観があります。何が正しいとか、本物ということではなく、その人にあったキャンプやアウトドアを楽しむのが一番です。小さな子供がいる家庭にとっては手軽に郊外や森に行って自然の中で子供を遊ばせたいと思います。安全でテントがあらかじめ設営してあるところもありますし、ロッジやバンガローもあります。グランピングのように設備が整っていて、ホテルのような所も多くなってきました。日帰りで手ぶらのBBQも流行っています。かと思うと芸人や芸能人がYouTubeでアップしているソロキャンプやブッシュクラフトのようにできるだけ道具を持ち込まずに現地調達して自然の中に溶け込むことを良しとする、あえて不便を楽しむ人たちもいます。キャンプやアウトドアで使用する道具を「ギア」と呼ぶようです。このギアにこだわっている人もいます。また家と外との境界線をあえて緩やかにしたアウトドアリビングがある家も建てられています。それぞれの生活様式や価値観に合わせて選んでいいと思います。

いつもとは違う外の景色や空気の中に身を置くことで、リフレッシュしたり、リセットすることはとても大事なことだと思います。こうでなくてはならないというものはありません。

それぞれでいいのです。



運動会 5月18日 (土)

選手リレー



学年種目 1年



学年種目 2年



学年種目 3年



一中魂



5組校外学習 4月25日 (木)



校長による道徳の授業 1年と2年 4月から5月



生徒総会 5月2日 (木)

